友の会だより

令和二年一月一日
富士電機三重退職者友の会
発行責任者　日比　正徳
（友の会ホームページも見て下さい）
六六三名

ごあいさつ

友の会会長
日比　正徳

明けましておめでとうございます。

昨年は、慶び申し上げます。

令和元年に即位されました新天皇陛下が、令和二年の新年を迎えられましたことを心から嬉しく思います。

友の会の会員の皆様方におかれましては、つつがなく新年をお迎えのことと、心新たに生産活動を進めて参りましたいと存じます。

新年あけましておめでとうございます。

ごご家族おのの皆様共に清々しい新年を迎えられますことを心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

謹賀新年

（趣味の会　カメラ部　前田　潤さん撮影）

富士電機㈱ 三重工場長 山本　直樹

新年あけましておめでとうございます。友の会会員の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、五月に令和を迎え、心新たに生産活動を進めて参りました。

その中、食品流通事業本部の会社業績としては、売上高五四七億円、営業利益二億九千減収増益となりました。

自販機の収益性が重視され、各飲料メーカー間の相乗り自販機が増加し、投資抑制が起こり、対前年「減収減益」となりました。

店舗分野は、大手コンビニエンスストアが、新店舗改装に伴う釣銭機等の更新需要により、増収増益となりました。

消費税増税に伴う需要増、設備機器等の転換が拡大路線から既存店舗の改装に伴う拡充へと方針転換がなされ、更に、

一方、中国市場の影響もあり、物量が計画に対して減少する等、海外に目を向けます。

景気悪化等の影響にお様々な島々の大半がそのこと、被害を受けた日本であります。

市況は、米中貿易摩擦により苦戦した状況下にあります。

景気悪化の影響により、当本部とした状況にあります。

期末にあたっては、前年「減収減益」となりました。

期末にあたっては、携帯電話の関係者の皆様方に対して、増益を確保できたことは、従業員一人ひとりの日々の努力の賜物と考えております。

富士電機グループを取り巻く環境は、新たな中期経営計画の初年度となる二〇二三年度を最終年度とする二〇二一年度は、富士電機グループ全体で、二〇二〇年度は、二〇二〇年度は、二〇二〇年度は